
CORPORATE DESIGN BOOK

株式会社帝樹園庭正

Contents

企業理念	03
企業ビジョン	04
ロゴの由来	05
経営方針	
・財務方針	06
・フィロソフィー	07
人材育成方針	09
差別化・区分化・専門化戦略	11
チーム別方針	13
会社のルール	17
創業の歴史・精神	19
帝樹園庭正の仲間たちへ	23



人生の景色を、変える。

「人生の景色を、変える。」とは
お客様の理想をお庭で形にすること
自分の人生の景色を理想のものとしていくこと

●お客さまの物語があるお庭づくり

「お客様が大切にしていること」を大切にします。
お客様の価値観・好み・趣味・夢など、お客様の物語(これまでどのように生きてきて今後どのように生きていきたいのか)をすべてヒアリングし、デザインに落とし込むことにこだわります。

なんとなくいいもの、なんとなくカッコいいものでは人生の景色は変わりません。お客様が大切にされてきた人生を具現化すること・楽園を形にすることによって、お客様の「人生の景色を、変える。」ことが私たちの使命です。

●自分の人生の景色を豊かにする

お客様の人生の景色を変えるために自分を犠牲にすることはしません。お客様に伴走し、お客様に喜んでいただくことによって、自分自身の人生の景色をより豊かに、より理想のものに近づけます。

世界に通用するガーデンカンパニー

対顧客：「人生の景色を、変える。」パートナー

私たちは、お客様の「人生の景色を、変える。」パートナーとして、心地よく暮らせる庭空間の創造に貢献します。お客様の価値観を明確にしながら、100年先も安心安全な施工を施し、理想の樂園を実現し、心が豊かになるために、持てる技術を出し惜しみなく駆使したサービスを提供します。

対社員：心という土壌を豊かにする畑

私たちは、心という土壌を豊かにし、自己実現という花を咲かせるための環境を畑として社員に提供します。理念の共有がなされるだけでなく、社員同士が固く絆で結ばれ、尊重し合え、誰一人として孤立させない組織を目指します。

対社会：ガーデンを通して健康寿命を伸ばす 植物で世界をブランディングする存在

私たちは、植物を通し人の心を豊かにすることで世界をブランディングします。健康寿命を伸ばすためにグループ会社や協力会社、クライアントとパートナーシップを組み、理想の社会・人生を共創することで、社会に大きく貢献します。

ロゴの由来



人の和を育み、人の思いが積み重なることで、
100年先も成長し続ける想像上の木「帝樹」

そのイメージを社名に冠し、
ロゴとして表現しました。

長期繁栄のために短期の利益を積み上げる 健全な財務基盤

高収益体質、 並びに経常利益20%の実現

私たちは、資質の高い人材を採用し、工事部門であれば給与の3倍の付加価値、バックオフィス部門でもそれと同等の職務責任を果たすことを期待します。また、弊社独自のデザイン力・提案力・技術力を高め、成果の創造に貢献できる高付加価値サービスをお客様へ提供することにより、高収益体質を実現します。

経営方針 - フィロソフィー -

フィロソフィーとは、「帝樹園庭正の社員としてふさわしい7つの行動規範」のことです。

社員一人ひとりが7つのフィロソフィーを体現することを通じて、帝樹園庭正らしい文化がつくられます。

① 感動

「私たちは、心が動く仕事をします」

目的はお客様に心地よさを届けること。お客様と一緒に愛される景色をつくろう。お問い合わせをいただいた瞬間からこちらのサービス提供は始まっています。所作や挨拶、お辞儀からも一流のホテルマンのような心地よさを提供し、感動を呼び起こすことが帝樹園庭正の社員としてふさわしい行動規範です。

② 礼儀

「私たちは、相手を思いやる礼儀作法を学び続けます」

挨拶と清潔感を礼儀の目安にし、依頼・謝罪・感謝・清掃・身だしなみを極めます。お客様や取引先に対して礼儀による心地よさを届けることが一番大切な高付加価値サービスであり、帝樹園庭正の社員としてふさわしい行動規範です。

③ 主体性

「私たちは、何事にも主体性を持って取り組みます」

関わる出来事すべてを自分事とし、決して無責任な言動をせず、周囲にも良い影響を与える主体性を発揮する姿勢が帝樹園庭正の社員としてふさわしい行動規範です。

④ 誠実

「私たちは、何事にも正直にそして誠実に取り組みます」

謙虚さと誠実さを基本にし、お客様の想いに真心で応えます。知ったかぶりをせず、わからないことはわからないと正直に答え、何事にも誠実な姿勢を貫くことが帝樹園庭正の社員としてふさわしい行動規範です。

⑤ 感性

「私たちは、今日一日を大切に、
小さな気づきを集めることで、自らの感性を高めます」

重要なのは多様な視点を持つこと。小さな気づきから、感性・面白さ・やる気が育ち、それがやがて大きな果実へとなります。一日一日を大切にし、自ら考えて、気づきを集め、未来をつくる思考を育てることが帝樹園庭正の社員としてふさわしい行動規範です。

⑥ 挑戦

「私たちは、何事にも変化を恐れず挑戦します」

何もしないことが人生において最大の失敗であると認識し、果敢に挑戦して失敗から学び、いつも良い緊張感を忘れずにいることが帝樹園庭正の社員としてふさわしい行動規範です。

⑦ チームワーク

「私たちは、常に仲間たちと対話します」

相手を思いやる対話から仕事への関心や気づきを得て、報連相はもちろん情報共有で組織を伸ばそうとする姿勢が帝樹園庭正の社員にふさわしい行動規範です。

世界に通用する物語の創り手

【世界に通用する物語の創り手とは】

世界に通用する物語の創り手とは「相手を思いやる職業人」のことです。具体的には、誠実で才能があり、痒いところに手が届き、先輩から可愛がられ、後輩からは頼り甲斐があると慕われる存在です。その配慮と気配りを盛大に発揮した先に、「世界に通用する物語の創り手」として成果を出す人材になることができます。

■ 実力主義

売上や利益の結果だけ出せば良いということではなく、マインド・ノウハウ・スキルを兼ね備え、プロフェッショナルとして高いパフォーマンスを発揮する人材に対して厳正かつ公正に作成した評価制度に基づいた報酬を支払います。厳正かつ公正というのは、決して評価者の感情や被評価者の性別など本質から逸れた評価をすることではありません。

■ 挑戦と成長

自ら成長したいと心から願う人に対して、成就するためのマインド・スキル・ノウハウ・機会を提供することでサポートし、全力で支援します。

■ 経営者マインド

自分が経営者ならどう行動するかを考え、行動に移す人材を育成します。ここで言う経営者マインドとは、正しい判断力・実行力・リーダーシップを持つ人材を指します。

Memo

差別化・区分化・専門化戦略

■マーケティング戦略

ハイクオリティパフォーマンスを届ける個別戦略

競合と比較される安売り戦略を必要としないマーケットを選びます。独自性を全面に展開し価格ではなく価値で選ばれ続けるハイクオリティパフォーマンスを発揮し、自社施工であれば粗利70%、外注であれば粗利50%を取ることができるマーケットに貢献します。

■商品戦略

人生を映す庭戦略

なんとなく良い・かっこいいを抽象的に終わらせず、ヒアリングをもとに最適解を見つけ出します。その人にとってライフスタイルの拡張に繋がるお庭づくりと人生の景色をより豊かにするサービスを提供します。

■営業戦略

ガーデンを上質世界のど真ん中にぶち込む B to F戦略

同業者による狭いパイの奪い合いではなく、ガーデンファンの人口を増やす行動をします。その人にとって最適な過ごし方、土や植物に触れる喜びを提供することでファンになっていただきます。そして、施工させていただいたお庭の施主様をご自身の庭専門のガーデンコンシェルジュとしてプレゼンできるよう、ファンを育成することにこだわります。

Memo

チーム別方針

施工チーム

役割

庭づくり

「人生の景色を、変える。」という理念を体現するポジションとし、お客様との直接的な接点を通して理想の過ごし方を一緒に形にしていく空間創造サービスを提供する。

メンテナンス

それぞれの庭・樹木の特性にあった剪定・冬囲い・薬剤散布・施肥を行い、維持管理ではなく、メンテナンスによる空間を醸造するサービスを提供する。

重点戦略

- ① 凶面の感動を超える施工
- ② 回数を重ねるたびに洗練されていくメンテナンス
- ③ お客様の質問に誠実に答えるナレッジの提供
- ④ お客様のガーデンライフに寄り添う
ガーデンコンシェルジュとして振る舞う
- ⑤ いつでもお客様を迎え入れることが
可能なレベルの自社展示場の整備

営業企画チーム

役割

顧客のインサイトを掘り起こす

ヒアリング・ガーデンデザイン

お客様のインサイト(潜在意識)を徹底的にヒアリングし、お客様の人生の価値観をデザインに落とし込む。

自社展示場の活用及び

コラボイベントの企画・実施

ガーデンファンを増やすために、「上質な空間と上質な体験」をセットで味わえる様々なイベントを企画・実施する。

重点戦略

- ① お客様のインサイトを徹底的に掘り起こし、言語化しにくい部分をデザインに落とし込み、お客様の感情を刺激することで購買意欲を高める
- ② 企画するイベントはガーデンファンを増やすことを最大の目的とし、効果的なお客様との接点を創出する

経理チーム

役割

月次決算の実施による

正確な経営数値の算出と経営陣への報告

正しい経営数値を把握することが会社を守ることに繋がると理解し、正確な請求書の発行や売上の計上を行うことで会社と仲間を守る。

補助金・助成金の活用及び申請

更なる飛躍のために、補助金や助成金を活用して新しい挑戦をする。

必要に応じて適切なサポートを受けることが、会社の発展と社員の成長に繋がると信じ、積極的に導入する。

重点戦略

- ① 工事部ならびに営業企画チームと連携し、請求書をミスなく発行する
- ② 管理会計に基づいた入金管理・支払い管理の徹底
- ③ 経費管理の徹底

Memo

会社のルール

■共通ルール

- ① 社員同士、お客様、取引先に対して
気持ちの良い挨拶をしましょう。
- ② 責任を果たすことを求めますが、辛くなったりしたら
迷わず上司に相談してください。
一緒に課題を乗り越えましょう。
- ③ ミスやトラブルが起きた時はすぐに報告してください。
対処が早ければやがて信頼に変わります。
- ④ 会社は個の集合体です。
お互いの立場を思いやる言動をとりましょう。
- ⑤ お客様、取引先への返信はその日のうちに。
難しい場合は追って連絡することを一報いれましょう。

■現場ルール

- ① 現場に入る際はお客様に挨拶を徹底してください。
下請やお留守の場合は除きます。
- ② タバコは休憩中に。場所を選びマナーを守ってください。
- ③ 安全第一に作業しましょう。
危険作業は決して行わないこと。
- ④ 夏場の気温が38℃を超えるときは作業を中止し、
小休止をこまめに取りましょう。
- ⑤ 作業服は支給されたものを必ず着用してください。
- ⑥ 社用車・道具はこまめにメンテナンスをし
大切に扱きましょう。
そうすることで会社の資金を守ることができます。

会社の価値観を守ることを大前提に基本的な会社のルール
に関しては就業規則に則り運営します。

Memo

創業の歴史・精神

『人生の景色を、変える。』

『人の心に植物を植える。
そのために己の心の土壌を豊かに。』

■コアヒストリー

私は1988年、父方の公務員の家系に生まれました。物心がついた時から祖父・祖母・父からの厳しい外的コントロールの「躰」に嫌気がさし、家にいることを退屈に感じ、常に外に遊びに出ては日が暮れるまで帰らない、家に金はあっても心が貧しい家庭。そんな幼少期を過ごしました。

当時、心の支えだったのが、母と母方の祖父と祖母、そして数少ない友人でした。逃げる場所は決まって友人宅か、母方の祖父母の家。中学生の頃、母方の祖父から「仕事を手伝ってくれないか？」と声をかけられ小遣い欲しさについていき、寸法のない世界で自由に表現できる。それが楽しかったことを今でも覚えています。今思えばこれが初めての庭師の仕事でした。

高校に入学してからは毎日野球に明け暮れる生活でした。野球への情熱はありながらも高校3年間ケガが多く、プロ野球のスカウトから声が掛かるも最後の大会前に肘を手術。大学野球を経てからプロの道を目指すことにしました。無事に行き先の大学も決まってから、自分の人生で初めて大きな事件が起きます。

父親の強烈な外的コントロールによる進学の強制辞退でした。人生最初の絶望です。高校3年の2月に起きた出来事で、慌てて就職活動を始めるも残った求人票は2社のみ。そこで当時はブラック企業という概念が存在していない超ハードワークのゼネコンに入社させていただき、心の中では「自分の人生、こんなはずでは。」と思いながら日々過ごしていました。この一連の出来事がきっかけで入社して2ヶ月で鬱病になり絶望は深まります。

それと同時に周囲の支えもあり、自分の人生を取り戻したい気持ちで当時発足して間もない独立リーグのトライアウトを受けました。結果は虚しくも、別で視察に来ていた社会人野球のチーム運営をしている野球の専門学校からスカウトをいただき、快く母親は送り出してくれました。

そこから専門学校で入学ではなく、専攻という形で1年間在学させていただきながらその後は土建屋に移り夜に練習する日々明け暮れていました。

2010年11月に祖父が脳梗塞に倒れ、入院中にお見舞いに来るお客さんに「今度からうちの孫が継ぎますので」と勝手に言いふらしたことと、ケガの影響からプロ野球への道をどこか諦めはじめたこと。何より祖父が大好きだったこともあり、5年の修行期間の猶予を祖父からもらい、本格的に庭師の道に。成り行きとはいえ、初めて能動的に自ら職業を選びました。

修行時代の給料は今まで勤めたどの会社よりも低く、手取りは13万ほどで休みは日曜と祝日のみ。先輩社員たちは雇い主の愚痴ばかり。それでも一から仕事を覚えるのは楽しく、もっと腕を磨くにはどうしたら良いか？そればかりを考えていました。寸法のない世界で、お客様に認めていただき喜んでいただきたい。言語化が難しい世界で毎日悩みました。

その中で人間関係にも悩み、兄弟子たちは毎日、上司や世間への不平不満の連続。その愚痴大会に参加せずにいたらいじめの対象になり、2年間口を利いてもらえない状況が続きました。それでも「ずっといる会社ではない」と自分に言い聞かせ耐え忍びました。

その結果、修行最後の年は実質リーダーのポジションとして現場を任せていただきました。石の上にもなんとやらだなと実感した瞬間でしたが、こういういじめが起きるような人間関係は自分の会社で作りたくないとも感じました。

そして2016年に創業し、ありがたいことに最初は順調でした。創業して初めて作らせていただいた庭が、人生初めての庭づくりでしたが、それが全国のコンテストで銅賞をいただき、地元の新聞テレビに取り上げられ一躍脚光を浴びました。

その後も同コンテストにて2年連続で金賞を受賞し、部門別で日本一を経験しました。ここで初めての壁にぶつかります。毎日忙殺され、なんのために働いているのかわからなくなり、仕事はおろか植物を見ることすら嫌になった時期がありました。

この時期は自分を見つめ直すのにとってもいい時間でした。なぜ仕事をするのか？お客様に喜んでいただくことはもちろん、自分を突き動かす源泉は何か？とことん向き合いました。

出てきた答えは、人の心に植物を植え、何気ない日常を特別なものに。そしてそれがたくさんの人に広まり、街が緑で溢れ人の心を豊かにしたい。その想いを「人生の景色を、変える。」という理念に集約しました。それを実現するために、大きく借入をしてモデルガーデンの機能を持った社屋を建設しました。

挑戦の負荷は大きく金銭面で苦しみました。人が離れることも経験しました。今でも毎日が戦いの日々ですが、その負荷が自分を育て上げてくれると実感しています。

技術を磨くことはもちろん、それを最大限に活かし切るには人格という土台が欠かせません。なぜなら、大きなことは決して一人では成し遂げられないからです。めげることなくやってこられたのは、お客様をはじめ協力業者様、関わってくださる方々に対して誠実に接することで新たな良いご縁が生まれ、気付いたらそれが広がっていたからだと確信しています。

帝樹園庭正の社員の皆さんにも緑を通して縁を繋ぎ、ご自身の心にある植物を大きな大木へと育てていってほしいと祈っております。

Memo

帝樹園庭正の仲間たちへ

最後に、創業者として少しでも私の話をさせてください。

私は最初から庭師になりたくて、この仕事を選んだわけではありません。むしろ遠回りをし、悩み、挫折し、自分の人生に迷いながらここまで来ました。

修行時代、給料は決して高くなく、理不尽なことも多く、人間関係に苦しんだ時期もありました。

それでも続けてこられた理由は一つです。

「このままの自分では終わりたくない」と思ったからです。

仕事を続ける中で気づいたことがあります。技術が上がると、できることは増えます。ですが、人としての器が大きくなると、人生そのものが変わります。

独立してからも順風満帆ではありませんでした。

うまくいかないこと、苦しいこと、責任の重さに押し潰されそうになったことも何度もあります。

それでも、挑戦をやめなかったことで、支えてくれる人とのご縁が生まれ、今の帝樹園庭正があります。

私は、はっきりと確信しています。人は、環境によって変わります。そして、人を一番成長させる環境は「仕事」です。会社は、給料をもらう場所ではありません。自分の弱さと向き合い、自分を磨き、自分の可能性を広げる場所です。ここで経験するすべての出来事には意味があります。

帝樹園庭正には、成長のためのプログラムがあります。
技術、提案力、対人力、考え方、習慣。
それらを学び、実践していけば、必ず成長します。

けれど、本当に育てたいのはスキルではありません。
人格です。庭づくりは、植物を育てる仕事です。植物は、
引っ張っても成長しません。良い土壌をつくり、水を与え、
光を浴び、時間をかけて育ちます。人も同じです。
会社は土壌です。仕事は水です。仲間は光です。
そして、成長するかどうかは、あなた自身の選択です。

この会社を、ただ働く場所にしないでください。
ぜひ「人格形成の旅の舞台」にしてください。失敗しても
構いません。未熟でも構いません。私たちは完璧な人を求
めていません。挑戦する人と、一緒に歩みたいのです。
ここで身につくものは、造園の技術だけではありません。
信頼の築き方、責任の持ち方、人との向き合い方、そして
人生への姿勢です。それは、どこへ行っても通用する“生きる
力”になります。

あなたの心の中にある小さな種を、ここで育ててください。
やがてそれは、誰かを支え、誰かの人生の景色を変える大
きな木になります。
その成長を、私は一番近くで見守り、共に歩いていきます。
一緒に、いい会社をつくりましょう。

長橋 正宇

Memo

Memo

氏 名： _____

株式会社帝樹園庭正

CORPORATE DESIGN BOOK

【注意事項】

本冊子に掲載している情報は変更される場合があります。
内容に変更があった場合には本冊子の回収をする場合もありますので、回収の際はご協力をお願いします。

